

労働者協同組合法
成立記念作品

人は人のために働いて
支え合い、
人のために死ぬ。
結局はそれ以上でも
それ以下でもない。

これは人間の仕事である。

中村哲は問う——“働く”とは何か、“仕事”とは何か、そして“平和”とは！



語り・室井滋 朗読・塚本晋也
主演・美輪あけみ、山崎アキラ、P.M.S.
企画・演出・日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）センター事業団
一般団体法人 日本社会連帯機構
制作・日本電報ニュース社 HD / 16:9 / カラー / 47分

11月 あしびなーシアター

良い時間、良い空間、そして良い作品 月に一度は映画を観よう

『医師 中村哲の仕事・働くということ』（47分）

2022

11.22(火)、23(水祝)

会場：沖縄市民小劇場あしびなー
料金：1,000円（学生500円）
当日券のみ / 未就学児は無料

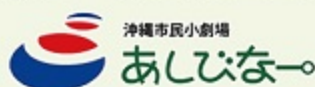
	10:30	13:30	16:30	19:00
11/22(火)	○	○	○	○
11/23(水祝)	○	○	◎	—

◎上映後に特別トークライブ



▲予告動画▲

企画協力：シアタードーナツ・オキナワ / ワーカーズコープセンター事業団おきなわ
後援：沖縄市社会福祉協議会 問合せ：098-934-8487（沖縄民小劇場あしびなー）



映画「医師 中村哲の仕事・働くということ」

1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねて行く。

「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である」用水路建設では自らが設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業をする。

その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。

「己が何のために生きているのかと問うことは徒労である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。中村医師は言う「これは人間の仕事である」。

2021年/47分/日本

製作：日本電波ニュース / 提供：ワーカーズコープセンター事業団

上映スケジュール

	10:30	13:30	16:30	19:00
11/22(火)	○	○	○	○
11/23(水祝)	○	○	◎	—

○ …… 各上映後に「協同労働」で仕事おこしミニ講座（30分）あり

◎ …… 11/23(水祝)の最終上映後に特別トークライブ「働くを哲さんに学ぶ」開催！

【11/23(水祝)最終上映終了後トークライブあります】

(トークライブゲスト)

與座初美 (NPO 法人子ども家庭リソース沖縄) / 桑江直哉 (沖縄市議会議員)

比嘉盛人 (ワーカーズコープセンター事業団) / MC: 宮島真一 (シアタードーナツ・オキナワ)

【お車でお越しのお客様へ】

沖縄市雇用促進等施設 (旧コリンザ) の立体駐車場をご利用ください。

